

直腸の手術を受けられる方へ(2日前入院)

入院診療計画書

作成日:

ID	患者様名				病名	<input type="checkbox"/> 大腸癌	特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (栄養管理計画書参照)	★退院指導★								
看護師					症状	<input type="checkbox"/> 特になし	リハビリ計画	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (リハビリテーション計画書参照)	外来診察医								
					手術日		総合的な機能評価		()								
日付									外来診察日								
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	術後10日目以降	20 年		
目標	不安なく手術を受けることができる				痛みが最小限で安楽に過ごせる		術後早期離床できる		食事療法が理解でき、段階的に摂取を進めていくことができる						人工肛門の管理ができる/日常生活に戻ることができる	月 日	
点滴	ありません	午後より点滴を開始します	24時間点滴があります		食事半分以上摂取で24時間点滴終了です		抗生剤のみ継続となる場合があります		点滴終了						時 分		
内服	いつも通り内服して下さい	朝から抗生剤が始まります 昼から下剤が始まります その他は、医師から指示があった薬のみを内服して下さい	指示のある薬のみ内服 有・無	ありません	医師の指示により内服薬が開始となります 指示があるまで服用しないでください 糖尿病薬・抗凝固薬も再開の指示があるまで内服しないでください				排便が3日以上ない場合や下痢が続く場合は 医師と相談し薬剤を検討しますのでお知らせ下さい						大腸癌術後の予定パンフレット持参忘れずに		
食事	制限はありません	昼から濃厚流動食に変わります 夕食摂取後から絶食になります	水分は () 時から中止です	絶飲食	医師の許可により飲水開始	医師の許可により食事開始	食事開始後、お腹の痛みや、吐き気張り等があれば、食事は摂取せずに看護師へお知らせ下さい		退院前に栄養士から栄養指導があります						検査内容		
検査	特にありません				レントゲン採血があります	2日目以降は必要時、医師の指示によりレントゲン・採血を行います									予定日		
活動	制限はありません		手術着へ着替え、弾性ストッキングを履きます (弾性ストッキングは手術前日にお渡します)	ベッド上での安静ですが、体勢をかえることは可能です ご希望の際はナースコールでお知らせ下さい	痛みは鎮痛剤でコントロール積極的に離床しましょう 最初は看護師が付き添って歩行します		日常生活を取り戻すため適度な運動、散歩などしましょう 体を動かすこと(離床)により腸閉塞やエコミー症候群、傷の感染などの予防になります									□ 大腸癌術後の予定パンフレット渡し済みか確認	
処置	へその処置をします		指輪・時計 入れ歯・コンタクトは外して下さい	心電図モニター・酸素 下肢深部静脈血栓予防に フットポンプの機械をつけます	適宜、体温や血圧測定を行い、傷の観察を行います お腹に管が入ってきた場合は管からの排泄の性状・量の観察を行います		午前									退院時のお薬	
清潔	シャワーに入って頂きます		特にありません		体を拭きます	お腹の管が抜ければシャワー浴が可能です。 傷は優しく泡で洗いましょう(初回は看護師が説明します) 毎日洗うことで治りが早くなり、創からの感染の予防になります									有・無 スタマ外来の予約		
排泄	制限はありません		トイレを 済ませて下さい	尿管を入れます。 排便する際はベッド上での排泄となります	医師の許可が出れば尿管を抜きます 抜いた後に痛みや血尿、尿の出にくさがあればお知らせ下さい	離床してお腹が動き始めることでガスや便が出始めます			診察カード						次回外来まではシャワー浴のみでお願いします (傷からの感染を防ぐため入浴は控えてください)		
説明	麻酔科医や手術室看護師からの説明があります 手術や麻酔の同意書にサインをしてご提出して下さい その他の書類もご提出をお願いします		手術開始時間は 予定時間より前後します ご了承ください 出棟時間が決定次第 看護師よりお伝えします	麻酔から覚めるまで 数時間かかります 付き添いをされたご家族に 駐車券をお渡します お帰りの際に 看護師まで声をおかけ下さい	活動量を上げましょう 腸の運動が活発になり、 傷の治りが早くなります	人工肛門造設または肛門に管が入ってくる場合があります 人工肛門が造設された場合は便の捨て方や袋の交換の方法などの指導を行います 退院後、ご自身で管理ができるように、袋の注文方法や、退院後の生活について説明します ※入浴は人工肛門からの感染の恐れがあるためできません※			医師の許可で退院となります 平日午前中の退院で お願いします 精算や次回受診日 退院処方などの説明を聞いてから お帰り下さい						煙草・お酒は禁止		
指導	分からないことや不安なことあれば遠慮なく看護師に聞いて下さい ※人工肛門造設の場合は造設する予定箇所に印を付けます		看護師が手術室にご案内します ご家族は手術開始予定の1時間前には病棟にお越しください	翌日歩行できるようになるまで足首を動かす運動をして下さい 痛みは我慢せずお知らせ下さい 痛み止めを用意しています	★痛みに対して不安がある場合は相談して下さい★ 何かあれば遠慮せずナースコールを押してください			人工肛門造設された方には退院後の生活に関してパンフレットをお渡します 退院後はスタマ外来の受診があります			傷の痛みは残ることもありますが日ごとに軽減すれば問題ありません 痛みが続いたり赤みや腫れが続く場合はご相談下さい						緊急連絡先 072-469-3111 平日:8:45~17:00 Bブロック 時間外は救急外来へ連絡してください

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。

※何かある時には遠慮せずにナースコールを押してください※

りんくう総合医療センター 8海病棟 改定：2023.06

説明日： 20 年 月 日 主治医(説明医)：

Ⓜ (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。

本人/家族等：

続柄：